

食の未来づくり運動

私の宣言

食の未来づくりのためには、
残さず食べる…です。
(横浜市 中川 貴博)

- 1 食料自給率の向上
- 2 日本の農業を元気に 年に1度は、生産者との交流や生産を支援する取り組みに参加しよう
- 3 持続可能な社会に向けて

食料安全保障の危機



～食、農、命を守るために私たちにできること～

商品委員会、組合員活動推進グループ主催によるオンライン学習会が3月2日に開催され、187人の参加者を得て、今直面している食料安全保障の危機について学びました。

講師の
鈴木宣弘・東京大学大学院教授、
専門は農業経済学



ウクライナ危機で激化する食料争奪戦

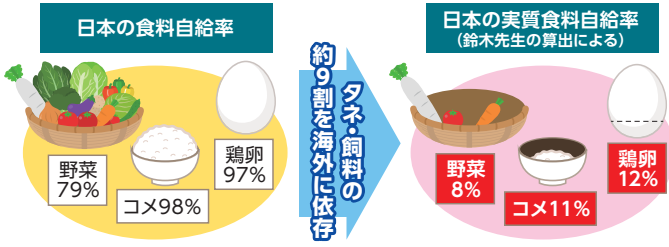
コロナ禍による経済活動の停滞、中国など特定国による「爆買い」、異常気象、ロシアのウクライナ侵攻などにより、小麦をはじめとする穀物、原油、化学肥料の原料価格が増幅され、食料や生産資材の調達がますます難しくなっています。

現状では化学肥料も種の採取も海外依存なので、日本の実質自給率は10%。鈴木先生が最悪のケースを想定した試算によると2035年には、米10%、野菜4%、牛乳12%、卵、肉などは、ほとんど食べられなくなるのではないかとのことです。

生協のシステムは、国内循環型農業のムーブメント

ここ数カ月、多くの生活必需品における値上げが続いていますが、農産物の生産過程でかかるコスト上昇分の多くが、値上げに反映されていないのが現状です。東都生協のような、生産者のコストを考慮した価格で買う活動「産直の生協」が、より大きな運動となることが求められています。消費者が産地を訪問し、生産者とながら、実情を知って買い支えることで生産コスト上昇にあえぐ農家の応援になります。

学習会の最後に、鈴木先生から「生産者と消費者がみんなで作って、みんなで食べる活動を強化し、一緒に頑張りましょう！」と熱いメッセージが送られました。



「食料自給率が低下した状況では、有事に国民のいのちを守れない。農家を守る政策こそが防衛費増強よりも重要な安全保障だ」と警鐘を鳴らしています。

日本の食料自給率(2021年農林水産省公表)と鈴木先生算出による実質食料自給率(イラストはイメージ)

日常に取り入れられる防災のおはなし ～知って得するアウトドアスキル～

「東日本大震災3.11を忘れない2023」

東都生協では東日本大震災後、さまざまな形で被災地の支援を続け、災害に対する意識を高めています。その一環として3月4日、51人(オンライン46人/さんぼんすぎセンター会場5人)の参加者を得て、毎日の生活をアウトドア仕様にする事で、いざという時のための備えができることを学びました。



講師のアウトドア防災ガイド、あんどろりす氏

防水対策

寒さ対策のためには、濡れない(蒸れない)素材の服を普段から身に付けておきましょう。濡れると、気化熱により体温を奪います。普段から濡らしたくないものを防水バックなどに入れておくものお勧め!



アウトドアグッズの利用

災害時、避難所での避難やテント泊、車中泊などに備え、アウトドア用の「断熱マット(座布団サイズ)」を普段から持ち歩きましょう。断熱マットは中に空気をため込むので、冬場は椅子や雪の上などに座る際の冷えを、夏場は熱くなったアスファルトなどに座る際の暑さを防止することができます。

注)車中泊を災害時初めて実施するとエコノミー症候群などのリスクがあります。

地震にどう備えるか

震度6強の地震が発生すると体が飛ばされるほど揺れるため、冷静な判断ができません。また、震度6以上の地震が起こると、「72時間一斉帰宅抑制」の実施が基本原則となります。普段から「その時、どうするか」を考えておく必要があります。

- 事前対策** ①耐震化 ②家具を減らす ③配置工夫 ④転倒等防止

- 地震直後** ①安全な場所で身を守る ②職場などが安全であればその場にとどまる ③移動中であれば避難できる一時滞在施設を事前に確認

また、地震の揺れが大きい場合だけでなく、小さくても長く続く場合は、津波の危険があります。すぐにできるだけ高い所へ避難をしましょう。

アウトドアスキルを普段の生活に取り入れることで、災害時に役に立つことがたくさんあるというお話はとても勉強になりました。

今月のつづき

東都生協50周年へのメッセージをつづやきます! 夫の転勤で東京での生活が始まり、まずは私の友達づくりから...と、東都生協の共同購入班に入りました。子どもたちの年齢も大体同じで、子育ても楽しい時代でした。八千代牛乳で育った娘も今ではママになり、娘宅の冷蔵庫内に八千代牛乳を見つけるとうれしくなる「ばんば」なのでした。(Y.K.)

お問い合わせ
共同購入事業部 組合員活動推進グループ
☎ 03(5374)4756
月曜～金曜：午前9時～午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

今月の表紙: サイズ選別前的大豆をすくう
(有)須黒食品三代目須黒亮吉社長の手

